|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 和名 | パラゴムノキ | 科名 | トウダイグサ科 |
| 学名 | *Hevea brasiliensis* |
| 英名 | Rubber tree | インドネシア名 | Karet |
| 原産地 | ブラジル　アマゾン川流域 | 用途 | ゴム・塗・材 |

高さ30mに達する常緑高木です。

幹の樹皮に浅い切れ込みを斜めに入れ、この溝からしたたり出る白色の乳液を採取します。この乳液をラテックスといい、これを精製して天然ゴムを作ります。この切れ込みは１mmほどの幅で、ほぼ毎日行われ、たいへん面倒な作業です。少しずつずらして溝を掘るので、１年間に切れ込む溝全体の幅は20～40cmになります。樹齢5年あまりすると乳液の採取を始め、40年近くまで採取するので、樹齢の大きな木では溝だらけになってしまいます。

和名の「パラ」は原産地である[ブラジル北部の州](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%96%E3%83%A9%E3%82%B8%E3%83%AB%E3%81%AE%E5%9C%B0%E6%96%B9%E8%A1%8C%E6%94%BF%E5%8C%BA%E5%88%86)（[パラ州](https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%91%E3%83%A9%E5%B7%9E)）に由来します。

果実は３条の溝があり、中には３個の種子が入っています。種子は、その紋様も大きさもウズラの卵にそっくりです。水に浮き、雨期に増水した水の流れに乗って分散します。

最近では、家具やフローリングなどの材料としても使われています。